

目黒区美術館30周年コレクション展

# ひろがる色と形

1950-60年代の抽象表現から



岡田謙三《銀》1954-55年 目黒区美術館蔵



KAK 三人衆 左から河潤之介、秋岡芳夫、金子至 (KAK アルバムより) 1958年頃

特集展示

秋岡芳夫全集5 <sup>カック</sup>KAKの仕事  
河潤之介・金子至とともに

2018 (平成 30)

2月10日(土)~3月18日(日)

午前10時~午後6時 (入館は午後5時30分まで)

※月曜休館、ただし2月12日(月・祝)は開館し、翌2月13日(火)は休館

[観覧料] □一般600(450)円 □高大生・65歳以上450(350)円 □小中生 無料

※障がいのある方は半額・その付添者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金

※目黒区美術館では、開館30周年を記念して区民割引を実施いたします。目黒区内在住、在勤、在学の方は、受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります。(他の割引との併用はできません。)

主催:公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

目黒区美術館 Meguro Museum of Art, Tokyo  
〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 Tel: 03-3714-1201  
Mail: mmatoffice@mmat.jp www.mmat.jp

30<sup>th</sup>  
Anniversary  
目黒区美術館  
Meguro Museum of Art, Tokyo

# ひろがる色と形 1950-60年代の抽象表現から

特集展示 秋岡芳夫全集5 <sup>カック</sup>KAKの仕事—河潤之介・金子 至とともに

目黒区美術館は、2017年11月に開館30周年を迎えました。これまで当館は、近現代美術に様々な角度から焦点を当て、多様な展覧会を構成するとともに、近現代美術の流れとその特徴を理解するための体系的なコレクションを形成してきました。現在、当館の収集方針である「明治以降、海外で学んだ日本人作家」や「目黒ゆかりの作家」などに沿い、油彩・素描・版画・彫刻・工芸など幅広く集めた作品群は約2300点を数えるほどに成長しています。そして毎年、新鮮なテーマを設けたコレクション展にて紹介しています。



猪熊弦一郎《コンポジション》1958年 ©The MIMOCA Foundation

今回は、この中から、1950年代から60年代にかけて関心が高まった抽象表現を取り上げます。

おもに油彩で制作した岡田謙三、猪熊弦一郎、赤穴 宏、菅井 汲のほか、立体造形でも陶芸の安原喜明、鉄を用いた槻尾宗一など、戦後、思い切った新たな表現を志向した作家たちがいました。丸、三角、四角…あるいは名状しがたい形状で表された作品には、人や動物、風景といった、私たちが知る具体的なものから離れ、構図上で形や色のバランスを探り、あるいは概念や心象を表現するなど、さまざまな試みがなされています。

本展では、目黒と縁のある作家を中心に、多様な技法や制作への姿勢が伺える、抽象表現による作品の数々をご覧ください。

同時に「秋岡芳夫全集5 KAKの仕事—河潤之介・金子 至とともに」を開催します。目黒ゆかりの工業デザイナー秋岡芳夫(1920-1997)を紹介するシリーズの第5回目となる今回は、1953年に河潤之介、金子 至とともに立ち上げた工業デザイナーグループ<sup>カック</sup>KAKの仕事を取り上げ、カメラ、露出計などの光学機器から、学習研究社『科学』の付録に至る仕事を紹介します。併せて、三人三様のキャラクターにも光をあて、とくに河潤之介、金子 至のユニークな人となりにも触れていきます。



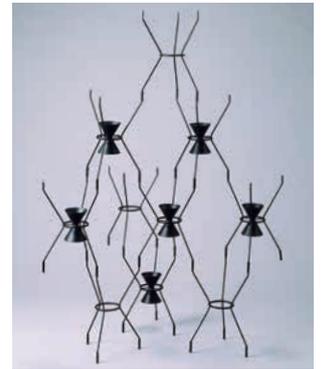
赤穴 宏《作品(岳)》1961年



菅井 汲《黒い手帖》1963年



安原喜明《五人の少女》1962年



槻尾宗一《ユニット花器》1955年

\*すべて目黒区美術館蔵

## 同時開催 ワークショップ 美術を見る・知るⅢ

開館以来、多くの方々に親しまれてきたワークショップ。昨年に引き続き「美術を見る・知る」をテーマに、鑑賞と創造の原点である「身体」をダイナミックに使う制作プログラム(子ども対象)、見ることで描くことに向き合うプログラム(おとな対象)、そして、美術を違った角度からご覧いただけるよう、学芸員とともに当館をめぐるコース開催します。

### 【こどものためのワークショップ】

#### 1. ひゃっきやこう 百鬼夜行 —紙から生まれるようかい大行進!

3月10日(土)、11日(日)  
各日午前10時30分～午後4時30分 全2日間  
ナビゲーター: メグロアソビ冒険隊

### 【おとなのためのワークショップ】

#### 2. 花を描く —見ることで描くことのあいだのやりとり

2月24日(土)、3月3日(土)  
各日午前10時30分～午後4時30分 全2日間  
講師: 山本 晶 (画家)

### 【美術館を楽しもう!】

#### 3. MMAT(目黒区美術館)の建物探訪—学芸員編

2月17日(土) 午後2時～4時  
ナビゲーター: 当館学芸員

## 秋岡芳夫全集5 KAKの仕事 関連プログラム

展覧会を観たあとに、秋岡邸(目黒区内)を訪問します。

### 秋岡芳夫 DOMA 探訪

2月25日(日) 午後1時～4時  
ナビゲーター: 当館学芸員

\*内容、参加方法等の詳細は、当館ウェブサイトにてご確認ください。



詳しいマップは  
こちらから

- JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩約10分
- 東急東横線・東京メトロ日比谷線 「中目黒」駅から徒歩20分
- 東急バス 「権之助坂」(目黒通り)下車 徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車 徒歩約3分
- 目黒区民センター隣接

## 目黒区美術館 Meguro Museum of Art, Tokyo

〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36

Tel: 03-3714-1201 Mail: mmatoffice@mmat.jp www.mmat.jp